

令和4年度 第7回みなかみ町教育委員会（臨時会）議事録

1. 招 集 年 月 日 令和4年12月13日（火）
2. 開 催 日 時 令和4年12月20日（火） 午後1時30分
3. 開 催 場 所 みなかみ町中央公民館 3階会議室B
4. 出 席 者 氏 名 田村義和・根津公安・登坂季子・利根川太郎
5. 欠 席 者 の 氏 名 阿部剛
6. 議 長 の 氏 名 みなかみ町教育長 田村義和
7. 事 務 局 出 席 者 河合博市・高橋輝・吉田武春・小林紀之
8. 会議録署名委員 1 番委員 根津公安
9. 本日の会議に付議した議件
 日程第1 会期の決定及び会議録署名委員並びに書記の指名
 日程第2 報告第6号 区域外就学について
 日程第3 議案第16号 月夜野地区統合小学校建設に係る適地の検討について（答申）

10. 開会 午後1時30分

日程第1、会期の決定及び会議録署名委員並びに書記の指名についてを議題とし、会期は本日1日限りとする事で決定。会議録署名委員を1番根津公安委員、書記に河合博市学校教育課長を指名する。

（議長）

日程第2、報告第6号区域外就学についてを議題とし、事務局より報告を行う。

－ 報告終了 －

日程第3、議案第16号月夜野地区統合小学校建設に係る適地の検討について（答申）を議題とし、事務局より説明を求める。

（利根川委員）

「現実的」はここでの表現として意味合いが異なると思う。他の表現はないか。

（事務局）

削除でも良いか。

－ はいの声 －

（議長）

では、削除して修正する。続いて「答申書」について検討中は「候補地」としていたが、結論がでたので「適地」とした。「目次」についてはこれでよろしいか。

－ はいの声 －

（利根川委員）

「渡り」は「亘り」ではないか。確認をお願いしたい。「より現実的な」は削除で良いと思う。

(根津教育長職務代理者)

取得用地の広さが入っていたと思うが。

(事務局)

確定していないため入れることはできない。

(利根川委員)

学校の耐用年数を入れなくても良いか。

(事務局)

基本的なところなので不要と考えている。

(利根川委員)

グラウンドのトラック「直線路」は「直走路」ではないか。確認をお願いしたい。

(教育長)

提言書に「直走路」とされているため修正できないので、そのままの表記とする。

議案第16号は異議無く承認された。

質疑・意見等について委員より意見をお願いしたい。

(利根川委員)

説明会を行うと「なぜ統合なのか」という意見が出され、統合は決まっているのに振り出しに戻そうとする意見が出される。今回は、事務局がしっかり対応されたので大きな反対意見もなく内容を理解していた方が多かったと思う。参加者が少なかったようなのでそのあたりはどう考えるのか。適地としての意見は問題ないように思えるが、統合後を心配する声が多かったように思える。学校建設は事務局と施工者のみで進めず学校・教育委員会も参加する場を設けて頂きたい。

(教育長)

説明会の参加者数については、どうだったのか。

(事務局)

保護者と地区別に分けて行ったがほぼ同じ割合だった。今回の参加者は保護者6割、地区の役職4割。

(教育長)

保護者の割合が多かったということは地域の方は前回よりも少なかったということか。

(事務局)

中学校はみなかみ町全域だったが、今回は月夜野地区ということで、各地域の思いはある

だろうが理解頂けていると考えている。

(利根川委員)

早期の統合を求める方が意外と多いのかもしれない。

(教育長)

参加者が少ないのは、興味もそれほどない、強く反対するわけでもないということか。

(根津教育長職務代理者)

若い保護者の中には早期の統合を求める意見もある。町から早い段階で統合を進める情報提供を行っていたことも良い方向に向かったと思う。

(登坂委員)

月北小の方たちも穏やかだったと思う。

(事務局)

同意見で、疑問点をしっかり質問していたように感じている。

(議長)

今後、学校側の意見をどのタイミングで聞いていくのかということだが。

(事務局)

ある程度、事務局主導でいく。教育委員や学校から意見を聞く場面を設けたい。実施設計に入る前あたりを想定している。

(利根川委員)

先進地視察は考えているのか。

(事務局)

笠懸小学校が先進的な良い校舎と伺っているので候補先として考えている。

(議長)

時期はいつ頃か。

(事務局)

今年度中に実施したい。近くでは、片品中なども良い校舎と伺っている。視察については改めて相談する。

(利根川委員)

県道はどうなったのか。

(事務局)

場所が決定すると県に歩道橋あるいはガードレールの整備を要望する。町組区長からは都市計画道路(悪戸矢瀬線)と県道後閑羽場線の交差点に信号機設置の陳情がなされ議会で採択されたので県に要望することになっている。

(登坂委員)

小・中・高の児童生徒の通学路なのでガードレールの整備は必要と思う。

(利根川委員)

スクールバスは3kmからとされているが低学年には厳しいと思う。2kmに条例改正を検討したい。

(根津教育長職務代理者)

保護者からも意見が出されると思う。

(事務局)

現在の月夜野地区でスクールバスを利用している児童は43名。統合後は2.5kmで計算し90～95名を想定している。3名に1名が利用する計算。さらに2kmにすると半数が利用することになる。名胡桃からの児童は頑張って徒歩通学をしている子が多い。古小で心配される方は1.5～1.7kmくらいなので、そこはどうか？検討を指示されれば行うことはやぶさかではない。

(利根川委員)

検討できるならすべきと思う。

(教育長)

新治地区において2kmでバス利用を許可しているところは変えることはできないが、今は条例により3kmとしている。国は4km・6kmとしているため、基準未滿で運行している場合は補助対象とはならず、すべて町負担で賄っている。適正配置で問題になるのは距離で、バス利用になると歩数が極端に減少する。小学生の平均歩数が15,000歩に対して2kmになると歩数が減るため、歩数が問題になっていることが解消できない。タブレットが増え荷物が多くなり危険という意見は検証しないと踏み込めないと考えている。この件は今後の課題としたい。

資料・意見等は異議無く承認された。以上で、本日予定された議事はすべて議了したので、令和4年度第7回みなかみ町教育委員会（臨時会）を閉会する。

11. 閉会 午後2時56分